

【デジタル化対応 商業活性化セミナー（令和5年度 小売業活性化セミナー） 開催要綱】

一昨年、トヨタ自動車のサプライチェーンがサイバー攻撃を受けたことをきっかけに工場が操業停止したとのニュースが流れ、被害の大きさに驚かれた方も多いことと存じます。中小企業・小規模事業者においても、感染症の流行もあってデジタル化の重要性は一層高まっている一方で、サイバー攻撃によって自社が受ける被害についてイメージできている事業主は多くなく、情報セキュリティ対策のリテラシー向上が必要な状況です。

本セミナーでは、2月1日～3月18日が政府において定められた「**サイバーセキュリティ月間**」に当たることから、この趣旨・目的に鑑み、サイバー攻撃を“実体験”することで、PCがウイルスに感染した時にどのようなことが起きるのかについて、より深い理解を得ることで、サイバーセキュリティの関心を高め、併せて中小企業・小規模事業者として取り組むべき対策について解説いたします。

また、地域内外の人のつながりをつくり、良好な地域コミュニティ形成が期待できる地域コミュニティ通貨について、滋賀県で取組が進められている「まちのコイン『ビワコ』」を活用した商業活性化の手法を紹介いたします。その他、県の商店街向けの商業活性化施策も併せて案内いたします。

■と き 令和6年3月7日（木）14：00～16：10

■ところ クサツエストピアホテル2階瑞光の間

草津市西大路町4-32（草津駅西口徒歩5分）

■講師①滋賀県警察本部サイバー犯罪対策課 中村 亮一 氏

②滋賀県総務部市町振興課 矢野 浩輝 氏

③滋賀県商工観光労働部中小企業支援課 岡田 萌恵子 氏

■テーマ サイバーセキュリティのスキル向上とコミュニティ通貨の活用等による商業活性化

■参加費 無料（体験用のPCも主催者側で準備いたします）

■定員 先着30名（セキュリティスキル向上のみの参加も歓迎します）

【ただし滋賀県商店街振興組合連合会傘下事業者の申込みを優先】

■申込み 別紙参加用紙による

■備考 セキュリティ対策の手法は中央会のオンライン研修動画コーナーでも紹介していますので、ぜひご覧ください（別紙参照）。

また、セミナー終了後に滋賀県商店街振興組合連合会の役員会を開催いたします。役員の方はそのままお残りください。